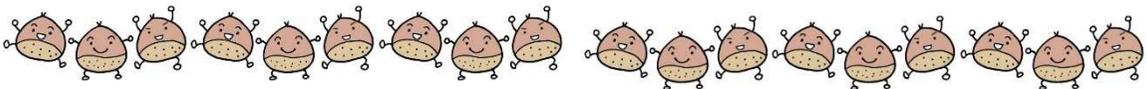




図書館だより

11月

10/24～11/2は校内読書旬間でした。1・2年生は各クラスでビブリオバトルを行いました。別紙に各クラスチャンプ本の紹介を掲載してあります。3年生は小論文や面接関係の本を借りる生徒が多く、10月の貸出冊数は3年生が最も多かったです。



夏休みからこれまで(7/15～11/20)の多読者20と、4月～11/20までの学年・クラス別貸出統計を発表します。

☆多読者20(7/15～11/20)

順位	氏名	クラス	冊数
1	後迫くん	2年3組	81
2	一松さん	2年3組	66
3	鎌田くん	2年2組	45
4	吉原さん	1年2組	39
4	吉川さん	2年2組	39
6	國師さん	3年1組	38
7	上柳田くん	1年2組	29
7	田原迫くん	3年1組	29
9	徳永くん	1年3組	26
9	水流さん	3年1組	26

☆学年・クラス別貸出冊数

	1組	2組	3組	合計
1年	149	263	179	591
2年	186	298	427	911
3年	273	186	310	769



多読者には図書館の常連さんや、最近よく利用してくれるようになった生徒がランクインしています。ブックデリバリーやビブリオバトルをきっかけに読書に対する意識が高まっているようです。学年・クラス別貸出冊数は2年3組、3年3組、2年2組の順に多いです。



☆年鑑類新刊☆～進路実現に役立てて下さい！～

<p>現代用語の基礎知識2018</p> <p>政治、国際情勢、経済、時代・流行などのジャンル別に、知っておきたい現代用語を解説する。「池上彰の「言葉で辿る戦後ニッポン」」等の特集するほか、ニュースのおさらいも掲載。</p>		<p>文藝春秋オピニオン2018年の論点100</p> <p>トランプ政権の行方、日本の教育大変革、AIと新・産業革命…。2018年の最重要論点を、「政治」「安全保障」「皇室」「国際情勢」などに分類して論じる。</p>	
--	--	---	--

本でスポーツを楽しもう

たくさんの本の中には、スポーツをテーマにした本もあります。競技上達に役立つ実用書や心揺さぶるノンフィクション、展開に目が離せない物語など、その内容も様々です。「心身をパワーアップ」「勝利をつかむために」「オリンピックの世界」「物語はリアルを超える!？」のテーマの本を揃えていますので、ぜひ手に取ってみてください。



国語の授業関連本

3年生の現代文の授業で安部公房の作品を教材として扱いました。安部公房はカフカに影響を受けたそうです。山中先生のおすすめで、安部公房とカフカの短編集を新刊としてたくさん準備したので、気軽に読んでみてください。

ノーベル文学賞受賞 カズオ・イシグロ氏

先月号の四コマ漫画で紹介したカズオ・イシグロ氏の本が入りました。イギリスのブッカー賞受賞の「日の名残り」や、昨年日本でも綾瀬はるかさん主演でドラマ化された「私を離さないで」、最新作の「忘れられた巨人」の3冊です。

先輩と語る会

11月21日には、「先輩と語る会」で全国で活躍されている卒業生のお話を聞くことができ、将来に向けてのビジョンが膨らんだのではないのでしょうか。

昭和49年卒の小園雅孝さんが寄贈して下さった武士道に関する本や、60年卒の漫画家西炯子さんの本（のこのこ・ひらひらひゅ〜ん①〜④・STAY①②・甥の一生映画ノベライズ・都会のトム&ソーヤ①〜⑭【挿絵】）が図書館にはありますので、読んでみてください。



秋の読書会～ビブリオバトルチャンプ本の紹介～

ビブリオバトル各クラスのチャンプ本の紹介と皆さんの感想です。図書館でコーナーも作っているので、友達の紹介してくれた本を読んでみて下さい。

1年1組チャンプ本「サンジの満腹ごはん」SANJI 著

この本は皆さんがよくご存じの海賊漫画「ONE PIECE」の名コック、サンジによる初のレシピ本です。漫画に出てくる料理のレシピをエピソードと一緒に紹介してあるので手に取りやすい料理本です。僕がこの本を紹介しようと思ったのは、最近のヤフーニュースで今の中高生は料理ができないため、大学に進学したりした時に一人暮らしを始めて、市販のお弁当に頼る生活をしてしまうため栄養が偏ってしまうという記事を読んだからです。僕も実際にこのレシピ本を見ていくつか料理を作りましたが、初心者向けに書かれていたのでわかりやすかったです。料理は一人暮らしや結婚した時に必ず役に立つので、ぜひこの本を読んで料理を作ってみてください。

- 3日間の中でそれぞれジャンルが違う本が紹介されたから面白かった。
- クラスのみんなの前で3人とも堂々と発表していてすごいなと思った。
- 3人とも自分が影響を受けた本や、みんなの役に立つ本を紹介していて、自分もそんな本を見つけたいと思った。
- 発表を聞いて、本には、本当にいろいろな読み方や魅力があり、人によって心に残る本もさまざまだと思いました。

1年2組チャンプ本『か「」く「」し「」ご「」と「』住野 よる著

この本は、男子2人、女子3人の高校生が主人公の、完全に青春の物語です。この5人は、それぞれ違う特殊能力を持っていて、京君は相手の気持ちが「！」や「？」の記号で見えます。この特殊能力で、心が見えているから青春と入り混じって、余計に複雑で難しいものになるんですね。また、この作品の著者である住野よるさんは、言葉の使い方が上手で、この言葉あそびによって、読者はまんまと勘違いをしまい、難しい青春がもっと難しいものになってしまうんです。さらに、この本には続きの話があって、本の裏表紙のバーコードを読み取り、クイズに正解すると読めるという面白いしかけもあるので、ぜひ読んでみて下さい。

- 3人それぞれのビブリオバトルがとても面白かったです。また聞いてみたいし、ビブリオバトル自体にも興味がでてきました。
- 3人とも話し上手、説明上手で本当に本が好きなんだなと思った。機会があったら読みたい。
- 朝読書の時間を使ってするので、周りが静かで集中して聞けた。とても面白かった。

1年3組チャンプ本「君の臍臓をたべたい」住野 よる著

この話は、明るくて人気者で友達の多いクラスメイトの桜良の病気を、彼女とは正反対で友達も少なく暗い性格の主人公の僕が知ってしまうことから始まります。しかもこの話の冒頭で「クラスメイトであった山内桜良の葬儀は、生前の彼女にはまるで似つかわしくない曇天の日にとり行われた。」と、彼女が死ぬことが最初からわかってしまいます。しかし僕の呼び名が、【秘密を知ってるクラスメイト】くんから【仲良し】くんへ変わっていくことで二人の距離感が縮まっていく様子が分かります。はたしてこの話はハッピーエンドなのかハッピーエンドなのか彼女と僕の関係はどのように変わっていくのか。大切な人を想って読んで欲しい一冊です。

- ただ本の紹介だけでなく、著者の他の作品を伝えたりしていてとても面白かったです。
- この3日間ビブリオバトルを通して本の魅力をたくさん知ることができたので良かった。
- ビブリオバトルはその人の感想や、著者がどのような作風で書いているのかが聞けて、その本が読みたくなった。

2年1組チャンプ本「学生時代にやらなくてもいい20のこと」朝井 リョウ著

朝井リョウさんは直木賞を受賞した「何者」や「桐島、部活やめるってよ」を書いた作家さんです。そんな朝井さんは小さいころ大病を患ったらしく、不治の病とも言われていたのですが、本人は元気そうでした。その病気は「中二病」なんですけどね。そんな朝井さんの面白い日常を綴ったのがこのエッセイ本です。眼科医に有り金全部置いていけと言われる話や、母が「私の車が爆発します！」という話、黒タイツおじさんとの遭遇の話など面白い話がたくさん詰まっています。続編で「風と共にゆとりぬ」というエッセイも最近出版されて、帯に「電車のなかで読めない本No.1」と書いてあったので、こちらも読んでみたいと思っています。

- 本のタイトルを聞いて気になったがプレゼンテーションを聞いてますます読みたくなった。
- 面白く発表していて、タイトルに興味がわくような本で、実話なのがすごいと思い読みたくなった。
- みんな自分なりに本を紹介していて、しかも5分という長い時間。とてもすごいことだなと思ったと同時に本を読んでみようと思えました。
- 3冊とも読んだことがなかったので、本の魅力が知れて、面白かったです。3冊とも読んでみたいと思いました。

2年2組チャンプ本「君の臍臓をたべたい」住野 よる著

この本はあまり本を読まない僕があっという間に読み終わった本です。この話は正反対の性格の僕と桜良の出会いが描かれていて、彼女の臍臓の病気のことを書いてある日記を僕が読んでしまうことから始まります。病気の話は家族以外の誰にも明かしていません。日記にはそんな桜良の病気に対する怖い気持ちや弱い心の内を書いています。それを見られた桜良は僕にだけは病気の話打ち明けられて、僕に対する呼び方も【地味なクラスメイト】くんから【仲良し】くんへ変わっていき、二人の距離はだんだん縮まっていきます。住野よるさんの本は主な登場人物を名前で示さず、読み手に考えさせながら読ませるのでミステリーに似ています。ミステリー好きにもそうでない方にも読み応えのある一冊です。

- いろんなことを説明してくれたのでこの先も知りたいと思った。
- 紹介のしかたが分かりやすく、本を読んでみたいと思いました。タイトルの本当の意味を知りたいと思いました。
- どの人も是非読んでほしいという思いが伝わり、いい発表だったと思う。
- 口調が落ちついていて聞きやすかったし、読みたくなった。映画も見てみたい。

2年3組チャンプ本「しっぽちゃん」群 ようこ著

皆さんは動物が好きですか？今日は動物好きの皆にいい本を持ってきたからね！この本にはたくさんの動物の短編が紹介されています。短編の良い所は、いろんな表現をたくさん見ることのできる、まるでサンドイッチのような所です。悪い点は、話が短いので紹介しようと思ってもネタバレになってしまうので内容を言えないところです。「ネコのトラタロウくん」「柴犬風、ゴンちゃん」「ヤモリのヤモリさん」など、内容はネタバレになるので言えないですが、心温まるペットの短編がたくさん詰まっています。それで、この本いくらだと思いませんか？実は1300円です。でもこの本は図書館にあるので、なんと無料で読めます。ぜひ、この本を読んで寒い冬を乗り越えて下さい。

- 話し方がすごく上手で、聞いていて楽しかったです。本読みが少し苦手な私でも、短編集だと読みやすそうなので、いいなと思いました。
- 3人ともそれぞれ話し方も、魅力の伝え方も違って、聞いていて楽しかった。
- それぞれの個性に合った本が紹介されていて、読みたくなる本ばかりだった。決めるのが難しかった。
- ビブリオバトルは本をしっかりと読んでいなければできないと思った。できる人はすごいと思う。
- 聞いていて話にどんどん引き込まれていったので、面白かったです。